



社協だより 11



宮園第1団地(災害公営住宅)

も く じ

- 共同募金運動について P 2
- 地域支え合いセンター P 3
- 介護者応援隊いきぬこ〜会 P 4
- 熊本学園大学実習生紹介 P 4
- 社協情報 P 5
 - ・ひきこもり相談窓口
 - ・もの忘れ相談室
 - ・シルバー人材センター
 - ・コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 事業
 - ・心配ごと相談
- 認知症サポーター養成講座 P 6
- 地域を支えるふくしの輪 P 6

共同募金運動について

共同募金の歴史

共同募金は、戦後の昭和22年から民間主体の運動として始まりました。

第1回共同募金総額は、約5億9千万円でした。当時の平均賃金が1,950円、郵便はがきが50銭、豆腐が1丁1円、理髪料は10円の時代で現在の貨幣価値にすると約1,200億円〜1,500億円と言われています。

第1回の配分は、児童保護や育児事業などに重点がおかれ、民間の社会福祉施設や同胞援護会などの福祉団体や生活に困っている人たちの支援に生かされました。その背景には、戦前6,700余あった民間の社会福祉施設が、戦後3,000余に減少し、施設の運営は苦しい状況であったためです。

現在の共同募金

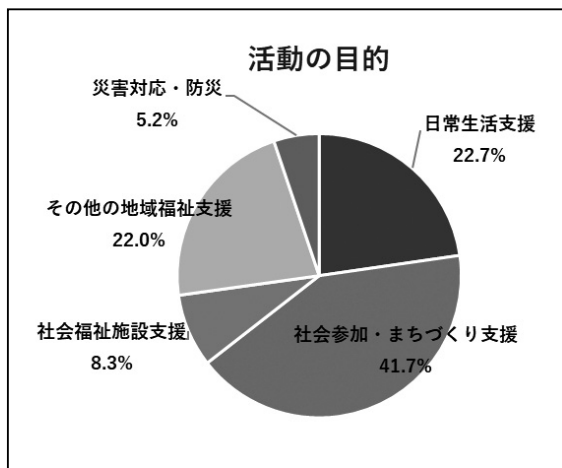
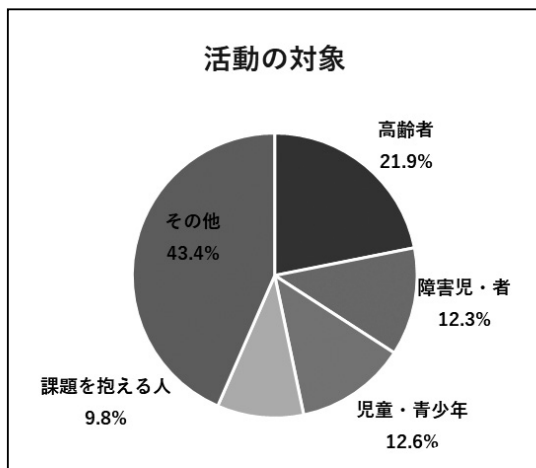
現在は、社会福祉法のもと地域福祉の推進にじぶんの町を良くするしくみとして活用されています。共同募金が集められた地域（市町村）で、様々な取り組みが行われています。

また、東日本大震災や平成28年熊本地震、昨今頻発している大雨や台風災害時にも活用されています。集まった共同募金の一部を災害等準備金として活用しています。

現在、流行している新型コロナウイルス感染症の影響で、外出機会が減ったことによる福祉課題に対しても助成事業を展開しています。



令和2年度募金のつかいみち（全国）



益城町の共同募金運動

益城町では、益城町共同募金委員会が共同募金運動を実施しています。益城町共同募金委員会は、熊本県共同募金会から益城町社会福祉協議会が業務を受けて活動しています。10月から「赤い羽根共同募金」、11月から「歳末たすけあい募金」を実施し、地域の皆さんや企業等にご協力いただいています。

令和2年度は、7,578,214円の募金が集まり、そのうち6,110,214円が令和3年度の共同募金配分事業として地域福祉の推進のために活用されています。詳細については次号に掲載予定です。

また、11月からは歳末たすけあい募金運動も実施します。重ねてのお願いになりますが、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



お問い合わせ

総務課 電話：214-5566

地域支え合いセンター

今回は、木山仮設団地の集会所で活動している2団体を紹介します。

華峰会

華峰会は瀧川華峰先生が40年以上前から始められ、木山仮設団地では約2年前から三味線や民謡の練習を行っています。現在8名で活動されており、大会に出場したり、新型コロナウイルス感染症が流行するまでは施設等の慰問もされ、希望があれば今後も慰問されるそうです。



家ではなかなか大声で歌えないのでストレス発散の場になると参加者の声の聞かれました。興味がある方はぜひ参加されてみませんか。毎月第1・第2・第3水曜日の13時から15時まで木山仮設団地集会所で行われています。



お問い合わせ
地域支え合いセンター 電話：289-6092

手話ダンス フレッシュユ益城

平成30年2月から木山仮設団地で始められている手話ダンスの皆さんです。メンバーは木山仮設団地の元住民で、以前からそれぞれ手話ダンスの活動をされており、共通の趣味である手話ダンスを行いながら集まる機会を作ったことがきっかけで現在も活動されています。



現在は10名で練習をされています。参加されている方からは、頭の体操にもなるから今後も続けていきたいとの声が上がっています。手話に興味がある方は一度見学に来られませんか。毎週月曜日10時から12時まで木山仮設団地集会所で行われています。



お問い合わせ
地域支え合いセンター 電話：289-6092

介護者応援隊いきぬこく会

そがみまこさんの童謡

10月13日(水) 木山仮設団地西集会所で開催し、8名の方が参加されました。

今回は「秋のひと時、童謡で楽しみましょう」と題して童謡歌手のそがみまこさんをお招きしました。昔懐かしい童謡にグッとくる感動がありました。メンバーの皆さんでエアータツなぎで「夕焼け小焼け」を歌ったり、音楽に合わせて体を動かし楽しみました。飛び入りで、曲に合わせた手話の披露もありました。



皆さんから「音響もあり迫力があってよかった。心に響きました」「懐かしい曲は自然に歌詞が出てきます」と口ずさむシーンもあり、充実した時間でした。

次回のお知らせ
日時 11月10日(水)
13時30分から15時
場所 木山仮設団地東集会所
内容 花カフェ(認知症カフェ)
どなたでも参加できます

参加費
無料

お問い合わせ
在宅福祉課 電話：214-5566

熊本学園大学 実習生紹介

10月11日(月)から11月11日(木)の23日間、熊本学園大学社会福祉学部3年生の山本彩加さん(馬水在住)が社会福祉士資格取得のための実習に来ていますので紹介します。



氏名：山本 彩加

趣味：アニメ鑑賞、ウィンドウショッピング

好きな食べ物：チョコレート、韓国料理

益城町の良い所：

病院、図書館、空港等があり、施設が充実しているところです。また4車線化が取り入れられ、もっと住みやすい町になると思います。

社会福祉士の資格取得を目指した理由：

私は将来、スクールソーシャルワーカーを目指しています。その過程で、社会福祉士取得は必須科目になっています。ソーシャルワーク実習を通して、支援者の強みやその方の得意なことを一緒に探しながら、大切に伸ばしていけたらと思います。

将来の目標：

スクールソーシャルワーカーになることです。

実習の感想：

地域サロンや社協が行っている事業を通して、益城町を広く知ることができました。巡回する中で、全く知らない地域と関わりを持つことができ、地域福祉に興味がわいてきました。

実習の前と後での社協のイメージ：

実習前は、困っている人を助けるという大まかなイメージしかありませんでしたが、実習を通して様々な活動に参加させていただき、地域福祉の大切さを学びました。

社協情報報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」で困りごとはありませんか。

「ひきこもり」は、誰にでも起こります。特別なことでも恥ずかしいことでもありません。悩みや苦しみを抱える前に「お悩み」や「気になっていること」など、あなたのタイミングで気軽に相談ください。

ご家族からの相談やお知り合いの方からの相談もお受けします。どのような制度があるのかのお尋ねだけでも構いません。

相談日 11月29日(月)

10時から15時

場所 保健福祉センター1階 作業室

※事前予約制です。

問 地域福祉課

☎214-5566

県ひきこもり地域支援センターゆるこ(☎386-1177)でも相談可能です。

もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開いています。

相談日 11月16日(火)

13時30分から

14時30分から

15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

事前予約制です。

問 在宅福祉課

☎214-5566

シルバー人材センター

～会員募集中～

60歳になったらシルバーで仲間づくり!

作業内容は、草刈・剪定・除草・農作業・家事清掃等が主になります。入会をご希望の方や活動について

詳しく知りたい方は下記までお気軽にご連絡ください。

現在、新型コロナウイルス感染症対策で事前予約制の入会説明会を実施しています。

問 シルバー人材センター

☎289-6092

☎289-6092

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業

どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢、障がい、子ども、生活困窮など分野の枠組みに捉われず、総合的に受けつけてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

問 地域支え合いセンター

☎289-6090



心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとに対して相談を受け付けています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、基本的に電話での対応のみとさせていただきます。相談内容によっては個別面談による相談も受け付けます。まずはご連絡ください。

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080-8427-8981

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 地域支え合いセンター

☎289-6092

☎289-6090

日程	専門相談員	相談員	
11月3日(水)	文化の日(休みになります)		
11月10日(水)	松尾英美 (司法書士)	/	徳永るみ子 (民生児童委員)
11月17日(水)	松尾一 (行政相談委員)	森田俊彦 (人権擁護委員)	河野啓子 (民生児童委員)
11月24日(水)	橋場紀仁 (行政書士)	遠山美智子 (消費生活相談員)	河端末廣 (民生児童委員)
12月1日(水)	松尾英美 (司法書士)	/	本山 齊 (民生児童委員)

認知症サポーター養成講座

生活協同組合くまもと

9月に5回に分けて開催し、合計で42名のサポーターが誕生しました。今回は、初めてZoomを使ったオンラインで受講していただきました。

生活協同組合くまもとでは、毎日の業務の中でお客様との電話応対や配達時の対応について心配になるケースもあるというところで、今回受講したことで「病気であることを理解し、認知症は誰でもなり得ることを知り考え方が変わった」「若年性認知症のことを初めて知った」「もっと早く(講座を)受けたかった。もっと両親の力になれたかもしれない」といった意見がありました。

当協議会では、企業や学校、各種団体の研修会等で依頼に応じ認知症サポーター養成講座を開催しています。現地に出向くタイプの講座や今回のようにオンラインでも対応可能です。



オンラインと集合型に分けて開催しました



地域住民向け講座のご案内

日時：11月27日(土) 13時30分から
場所：保健福祉センター研修室(2階)

※参加費無料で事前申し込みも不要です。

※認知症について学びたい方、将来の親の介護等に不安がある方等、どなたでもご参加をお待ちしています。

問い合わせ：在宅福祉課

電話：214-5566

地域を支えるふくしの輪

地域支え合いセンター

現在、木山仮設団地では令和3年9月末現在で24世帯の方々が生活されています。新型コロナウイルス感染症の影響で9月末までまん延防止等重点措置が適用され、なかなか集まる機会が持てませんでした。そのため、交流の機会と運動不足解消を目的に10月から毎週金曜日に団地内集会所でラジオ体操を行っています。

写真は、10月1日(金)に行ったものです。初めての開催で6名の方が参加されました。初めて顔を合わせた方もおられ、ラジオ体操の前後で自己紹介をされたり話が弾んでいました。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている方々の活動をご紹介します。



今後も、毎週金曜日10時から奇数月は木山仮設団地東集会所で偶数月は西集会所で開催していく予定です。

2021

11月号
(No.284)

発行/社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470

※益城町保健福祉センター(はびねす)内

TEL 096-214-5566 FAX 096-214-5567

ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

